

GXシリーズ
GX-Lシリーズ

保証書在中

大切に保管してください

ご愛用者のみなさまへ

このたびは、「システムバスルーム」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。長くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。

●この取扱説明書は、いつでもご覧になれるところに他のオプション品の取扱説明書や保証書とともに大切に保管しておいてください。

今後とも弊社製品を、ご愛顧いただきますようお願い申し上げます。



目 次

1.安全上のご注意(必ずお守りください。) …3

2.各部の名称 ……9

3.ご使用方法とご注意

①浴槽にお湯をためる ……10

②洗場でお湯を使う ……11

③ドアを開閉する ……14

④換気について ……16

⑤照明器具をについて ……17

⑥フロフタ収納フック ……19

⑦排水について ……19

⑧点検口について ……20

⑨その他のご注意 ……20

⑩その他のオプション ……23

4.お手入れ方法

①浴室の汚れ ……24

②軽度の汚れ ……25

③こびりついた汚れ ……26

④お掃除頻度 ……26

⑤お手入れ方法 ……27

5.あれ?と思ったら

①水栓 ……34

②床 ……34

③天井 ……34

④その他 ……35

6.アフターサービスについて ……36

7.浴槽・床パンなどの廃棄について …36

安全上のご注意

安全上のご注意（必ずお守りください）

この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください

◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。

——安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください——

◎表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵 表 示	意 味
	この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。
	この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
	この絵表示は必ず実行していただきたい「強制」の内容です。
	この絵表示は「感電注意」の内容です。
	この絵表示は「接触禁止」の内容です。



— 付 記 —

- * お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。
- * 転居される場合は、新しく入居される方に製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取次ぎされる方にお渡しください。

安全上のご注意

警告

入浴時の注意



禁止

- 幼児や身体の不自由な方を一人で入浴させないでください。おぼれたり、ケガやヤケドをするおそれがあります。
- 浴室内で幼児だけを遊ばせないでください。浴槽でおぼれたり、ヤケドのおそれがあります。

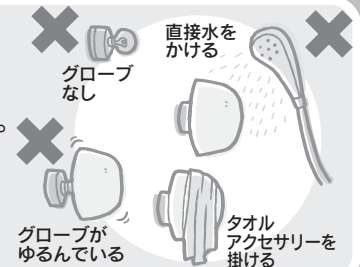


照明器具の取扱い



禁止

- グローブなしで使わないでください。感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。
- 照明器具にタオルなどを掛けしないでください。過熱して、火災になるおそれがあります。



フロフタについてのご注意



禁止

- フロフタの上に手をついたり、のったりしないでください。フタがはずれて、ヤケドやケガをするおそれがあります。



取説確認

- ホームバブル (オプション) ・ 混合水栓 ・ 換気扇などの付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、及び本体の注意表示にそってお使いください。誤った使い方をすると、思わぬ事故や故障の原因となります。



警告

飲酒後の入浴禁止



禁止

- お酒を飲んで入浴しないでください。
※足をすべらせ、ころぶおそれがあります。
- ※ころんだ時に、浴槽や、ドア、床などにぶつかりケガをするおそれがあります。
- ※鏡にぶつかって、割れたガラスの破片でケガをするおそれがあります。



感電に注意



禁止



感電注意

- 浴室内に電気製品を持ち込まないでください。
感電のおそれがあります。

注意 お手入れ時の

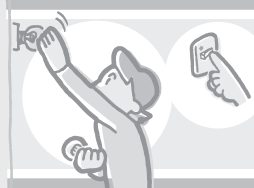


禁止



感電注意

- 照明・換気扇のお手入れ・電球の交換等は、必ず電源を切ってから行なってください。
感電やケガをするおそれがあります。

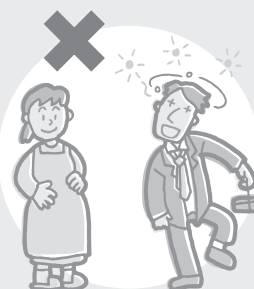


ホームバブル（オプション）



禁止

- 吸込口のカバーを外して使用しないでください。運転中に吸い込まれて、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。
- 次の方は使用しないでください。
・妊産婦・心臓疾患のある方・高血圧の方・泥酔者
身体に異常を起こすおそれがあります。
- 15分以上の使用はしないでください。心臓に負担をかけるおそれがあります。
- 髪の毛が浴槽内へ浸った状態でポンプを運転しないでください。吸込口カバーより髪の毛が吸い込まれて、ケガや事故の原因になります。髪の毛を持ち上げて、浴槽内へ浸らないようにしてください。



安全上のご注意

注 意



禁止

- 浴槽のふちや、カウンターなどには、絶対にのらないでください。足をすべらせて、ケガをするおそれがあります。



禁止

- 握りバーや、ランドリーパイプなどにぶらさがったり、強く引っ張ったりしないでください。転倒などにより、ケガをするおそれがあります。



転倒注意

- 浴室内は、石けん液などですべりやすくなっていますから、気をつけてください。ころんで、ケガをするおそれがあります。



禁止

- 満水状態の浴槽に一気に入浴しないでください。（浴室外に水があふれるおそれがあります。）



禁止

- 浴室内にガラス製品などの割れやすいものを持ちこまないでください。割れて、ケガをするおそれがあります。



湯温確認

- 入浴前に必ず湯温を確認してください。ヤケドをするおそれがあります。



禁止

- ドアの急激な開閉はしないでください。（ドアは静かに開閉してください。）手や足をはさまれて、ケガをするおそれがあります。

注 意



転倒注意

- 電球の交換や換気扇の掃除をする時は、必ず安定した踏み台をお使いください。バランスをくずして転倒し、ケガをするおそれがあります。



接触禁止

- 出湯時や止水直後は、水栓の金属部にふれないでください。ヤケドをするおそれがあります。



洗剤確認

- 掃除をする時は、必ず浴室用中性洗剤を容器に表示されている注意書きにしたがい、正しくお使いください。使い方を誤ると人体に影響が出たり床・浴槽・壁等に不具合を生じるおそれがあります。



禁止

- 浴槽のふちに立ったり、カウンター、洗面器置台などには絶対にのらないでください。破損したり、足をすべらせてケガをするおそれがあります。



滑り注意

- 腰掛けスペースを利用して入浴する場合は、握りバーを利用しながら入浴してください。すべてケガをするおそれがあります。



禁止

- 硫黄分の入った入浴剤は、使用しないでください。配管部などをいため、水もれのおそれがあります。



禁止

- 天井点検口のフタは設備点検時以外は、絶対にあけないでください。フタが外れ、落下してケガをしたり、湯気がもれて建物に影響をあたえるおそれがあります。

安全上のご注意

注 意



禁止

- 目地（コーキング）が切れたり、浮いたまま使用しないでください。水もれのおそれがあります。



禁止

- 排水口にシンナー等の溶剤や、薬品類を流さないでください。水もれのおそれがあります。



禁止

- 浴槽に無理な力をかけないでください。ヒビが入って水がもれるおそれがあります。



禁止

- 浴槽排水クサリ止め金具を無理に回したりしないでください。取付部がゆるむと、水もれします。



禁止

- 洗場点検口は、設備点検時以外、絶対にあけないでください。水もれのおそれがあります。



部品取付

- 商品引き渡し後、器具の位置を変えたり、新しく取付ける場合は、必ず販売店などにご相談ください。誤った取付をすると、思わぬ事故や水もれの原因となります。

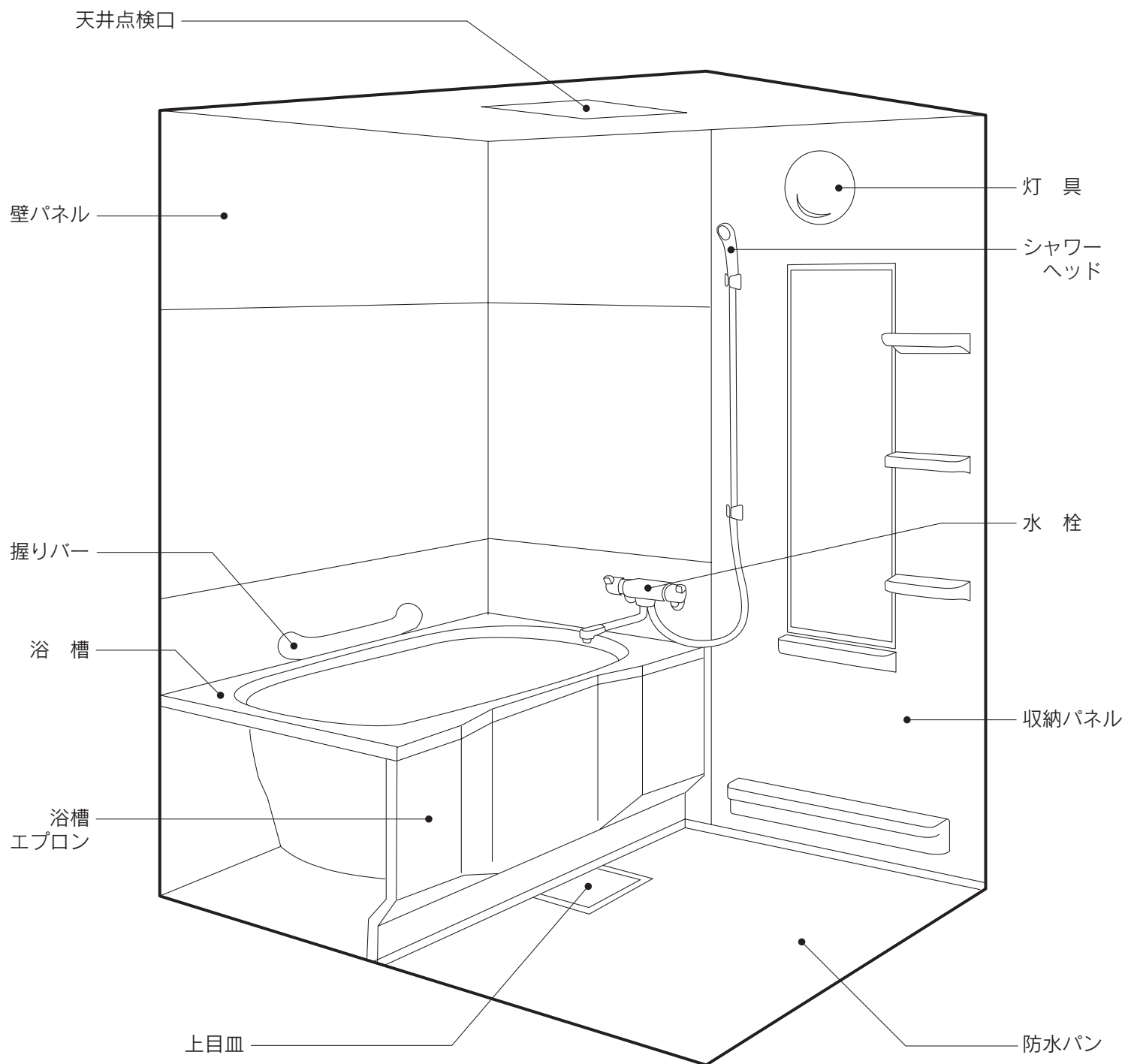


フロフタ

- フロフタは、必ず浴槽に合ったものをお使いください。フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。

各部の名称

GXシリーズ



●本図はGXシリーズ収納パネル仕様です。

図と異なる仕様のものでありますので、ご了承ください。

※1 BL認定バスルームにおいては必ずBL認定商品をお使いください。

ご使用方法とご注意

① 浴槽にお湯をためる

安全上のご注意



必ず守る

- お湯を使うときは、温度をよく確かめてお使いください。(ヤケドや浴槽を傷める原因となります。)
- 高温で使った後は、必ず目盛を40℃以下に戻してください。(次に使う人がヤケドをするおそれがあります。)



接触禁止

- 混合水栓のお湯側は熱くなりますので、さわらないでください。(ヤケドの原因となります。)
- 出湯時や止水直後は、金属部にふれないでください。(ヤケドの原因となります。)

使用上のご注意

- 熱湯(80℃以上)を直接浴槽に入れないでください。(浴槽を傷めるおそれがあります。)

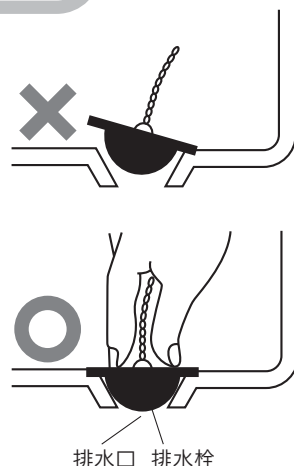
排水栓の開閉

浴槽の排水栓はきちんとしめましょう



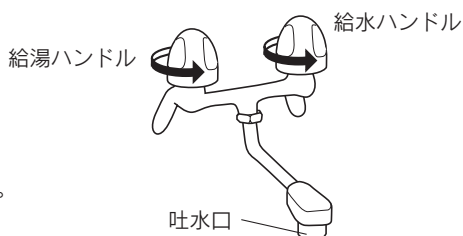
排水栓

- 排水栓を手できちんと排水口に押し込んでください。自然循環式風呂釜をご使用の場合、空焚きとなり、火災のおそれがあります。



混合水栓（浴槽側） ※くわしくは混合水栓（浴槽側）の取扱説明書をお読みください。

2ハンドル混合水栓



① 水用ハンドルを回す。

② 湯用ハンドルを回し、適温にする。

※使用後は、まず湯用ハンドルから閉めてください。
その後、水用ハンドルを閉めてください。

浴槽の水位にご注意ください。風呂釜ご使用の場合

- 風呂釜ご使用の場合は循環口の最上端より10cm以上のところまで水を入れてください。万一浴槽の水位が循環口以下のときは、空焚きの原因となりますのでご注意ください。



② 洗場でお湯を使う

混合水栓（シャワー付） ※くわしくは混合水栓（浴槽側）の取扱説明書をお読みください。

2ハンドル混合水栓

混合水栓は水側から出しましょう



熱湯注意

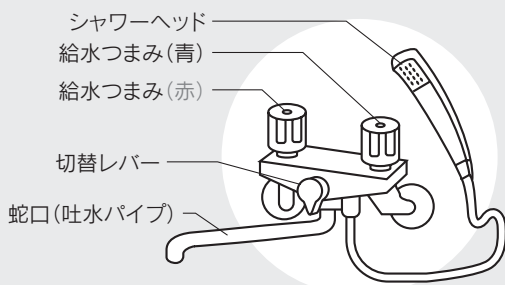
- お湯から先に出しますといきなり熱湯が出たりして危険です。必ず水から出し次にお湯を出しながら熱湯を調節してください。
- とめるときはお湯を先にとめてください。

つまみの色の表示で湯・水を区別してください



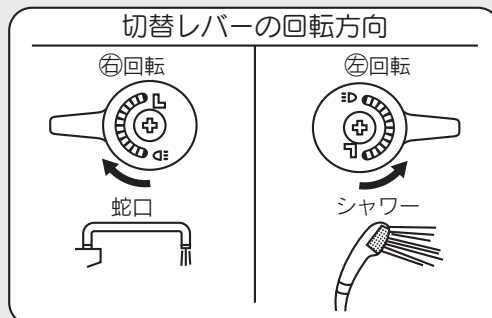
熱湯注意

- 赤い表示のつまみ（向かって左側）→ 給湯用
- 青い表示のつまみ（向かって右側）→ 給水用



湯温を調節する場合

- ① まず中央にある切替レバーを蛇口側にし、給水つまみを回して蛇口（吐水パイプ）より水を出します。
- ② 次に給湯つまみを徐々に回して適温に調整してください。



混合水栓の種類によっては切替レバーの形状が異なる場合があります。

湯を止める場合



湯温注意

- ① 給湯つまみを回してから湯をとめます。
- ② 次に給水つまみを回して水をとめてください。このとき切替レバーが蛇口（吐水パイプ）側になっているかご確認ください。

シャワーご使用の場合



湯温注意

- ① まず蛇口（吐水パイプ）のところで湯温調整をしてください。
- ② 次に切替レバーをシャワー側に回転してください。
- ③ シャワーヘッドよりお湯が出てきますので湯加減を確認後シャワーを使用してください。



禁止

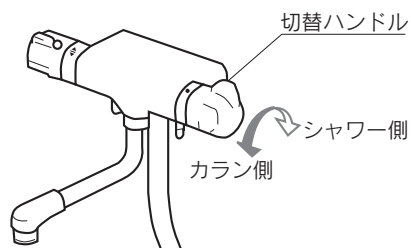
- サーモ付混合水栓以外でシャワーをお使いの時は、他の水栓を使わないでください。湯温が急上昇してヤケドをするおそれがあります。

ご使用方法とご注意

サーモ混合水栓

吐水・止水・シャワーの切り替え

切替ハンドルのレバーの位置をⅢに合わせると止水します。上に回すとシャワー側、下に回すとカラン側に切り替わります。



⚠ 注意



切替ハンドルの急激な操作は配管から漏水をまねくおそれがあります。切替ハンドルはゆっくり操作してください。
禁止 漏水して家財などを濡らすおそれがあります。



水栓を使うまえに、切替ハンドルを見てカラン側かシャワー側かを確認してください。カラン側とシャワー側を間違
湯温注意 うと、お湯を不意に浴び、やけどをするおそれがあります。



水栓を使うまえに必ず手で適温かどうか確かめてください。
高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。
湯温注意

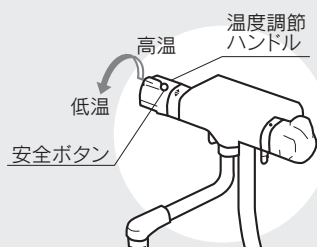


温度の調節



湯温注意

- 温度調節ハンドルを上に戻すと高温、下に戻すと低温になります。お好みの温度に合わせて、お使いください。
(お願い)
熱いお湯は、安全ボタンを押しながらか上に回してください。



安全ボタン



湯温注意

- 誤って熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。温度調節ハンドルは目盛“40”付近でロックされていますのでこれより高温で吐水したい時は、安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用した時は、ハンドルを必ず目盛“40”以下に戻しておいてください。



⚠ 注意



湯温注意

高温の湯を使った後は、しばらく水を流してください。水栓内に残った高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

シャワー使用後は切替レバーを蛇口(吐水パイプ)側にしておきましょう



熱湯注意

- 切替レバーをシャワー側にしておきますと、思わぬ時に頭から水をかぶることがあります。
- シャワー側にしたままでお湯から先に出しますと、熱湯を頭からかぶり、やけどをする危険があります。



混合水栓の蛇口はゆるやかに横に動かしましょう

- 蛇口を上下に動かしますと水もれの原因となります。

混合水栓の上に乗らないでください

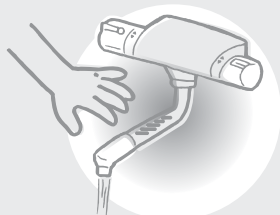


禁止

- 水栓の本体及び蛇口(吐水パイプ)に乗らないでください。水栓の上に足をかけたり、お子様がぶらさがったりすると危険です。



- 水栓の本体や吐水パイプの金属部分を触らないようにしてください。給湯中でなくても熱くなっていることがあります。

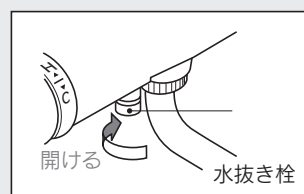


寒冷地水栓ご使用の場合

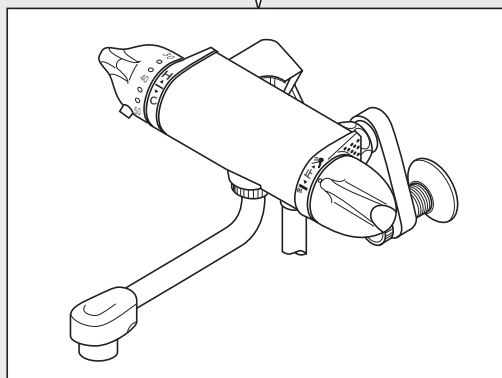


水抜き

配管の凍結が予想される場合は、水栓の水抜きを必ず行ってください。(詳細は水栓付属の取扱説明書をご覧ください。)



水抜き栓



ご使用方法とご注意

③ ドアを開閉する

ドアについて

ドアの開閉は静かに



禁止

ドアの急激な開閉はしないでください。（ドアは静かに開閉してください。）
手や足をはさまれて、怪我をするおそれがあります。

ドアハンドルや引手に体重をかけないでください
ドアハンドルや引手にお子様がぶら下がらないようご注意ください

- 体重をかけたり、ぶらさがったりしますと、ドアがはずれ怪我をするおそれがあります。

ドアガラリに直接水をかけないようにしてください
ドアロックは水をきらいます

- ドアロックに水をかけたりしますとサビの原因となり、ロックの開閉がきかなくなる場合がありますのでご注意ください。

お湯の室外流出に注意

- 入浴時はきちんとドアを閉めてご使用ください。浴槽のあふれたお湯やハネたお湯が浴室外に出ることがあります。
- ドアのまわりに長時間シャワー等でお湯をかけないでください。ドアには換気などのためのスキマ（ガラリ）が設けてあるため、お湯が浴室外に出ることがあります。特に清掃時には、ご注意ください。
- 浴槽満水状態で一気に入浴しないでください。あふれたお湯がドアのスキマ（ガラリ）から浴室外へ流れ出ることがあります。

ドアロックについて

(框ドア、レバーハンドルに関して)

ロックは次の要領で施錠、解錠することができます。

●ボタン式の場合

◆浴室に入りロックする場合◆

- ボタンの上を押してください。施錠できます。

◆ロックした浴室から出る場合◆

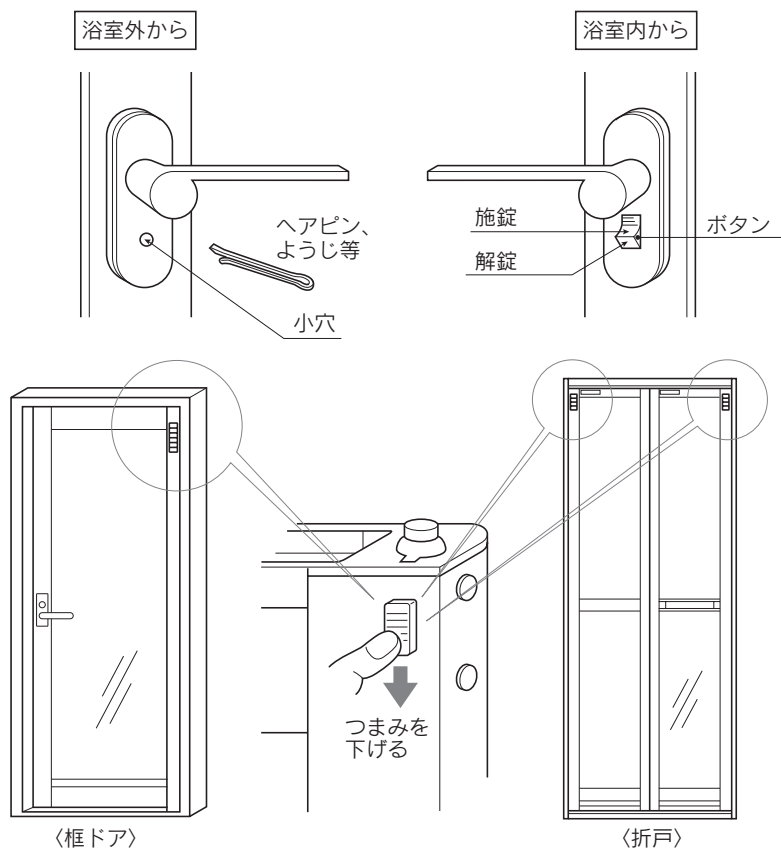
- ボタンの下を押してください。ロックは解除されます。

◆浴室外よりロックを解除する場合◆

- ハンドル下の小穴に細い棒（ヘアピンなど）を差し込んで押しと解錠できます。

◆非常時の場合◆

- 非常時の場合、ドア上コーナー部のレバーを下げれば、ドアをとりはずすことができます。



ドアが固くなった場合

●折戸の場合

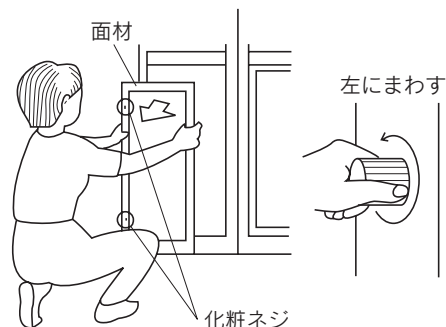
- ドアが固くなった場合、ドア中央部上の取付けビスをゆるめてラッチを下げて調整してください。
- ドアの開閉時（あけはじめ、しめおわり）に水密性をあげるため、固くしてありますが異常ではありません。



緊急救出口について

(高齢者対応型BL品のみ)

緊急救出口がついている折戸は、緊急時、浴室に入れない場合に図のように浴室外から折戸の面材1枚を取り外すことができます。
(化粧ネジ2本をはずす)



ご注意

- 日常ご使用の際は面材をはずさないでください。

ご使用方法とご注意

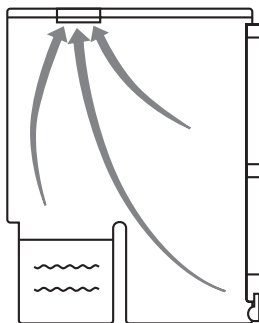
④ 換気について

浴室内を蒸気のかもったまま放置しておきますと、悪臭やカビなどの発生原因となります。また、浴室内のいたみが早くなることもありますので、換気・乾燥を心がけてください。

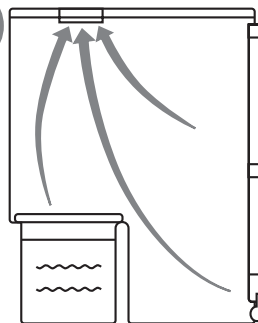
- ①換気扇付きの場合、入浴後、換気扇を3時間以上回してください。
夜間（翌朝まで）換気することをおすすめします。
（不十分な換気はカビの原因となります。）
- ②入浴中の換気は、ご注意ください。
（気温が低い場合は、換気扇内で発生した結露水が落下したり、浴室の扉のガラリを通じて室内より空気が流入して寒く感じる場合がありますのでご注意ください。）
- ③浴槽にお湯がある時は必ず風呂フタをして換気してください。
（入浴中以外はこまめに風呂フタを使用されることをおすすめします。）
- ④窓がある場合、窓をあけて換気を心がけてください。

ご注意

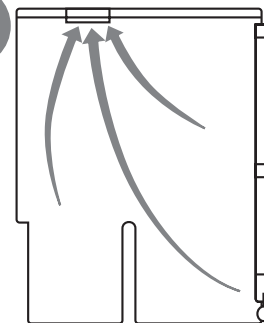
- 床面や天井および浴槽の表面についた水滴は、換気扇を回しても、湿度の高い雨の日や寒い冬の日等には取れないことがありますのでご了承ください。
（特に床の凹凸パターン等に一部水滴が残りますのでご了承ください。）



浴槽のフタをしないで行う



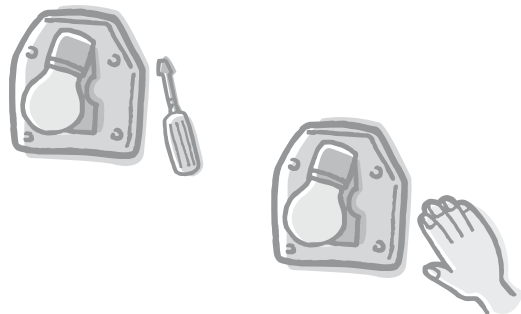
浴槽のフタをして行う



5 照明器具について

使用方法について

- 器具の改造や部品の交換は行わないでください。
※落下、感電、火災等の原因となります。
- 点灯中及び消灯後しばらくは高温になっています
ので、金属板とランプには手を触れないでください。
※ヤケドの原因となります。



保守・点検について

- 明るく安全な使用を続けていただくため、半年に1回程度のお手入れを行ってください。
- ランプ交換やお手入れの際は必ず電源を切って、器具の温度が下がってから行ってください。
※感電やヤケドの原因となります。
- 濡れた手で、ランプ交換やお手入れを行わないでください。
※感電の原因となります。
- カバーのお手入れは取り外した後、ぬるま湯に浸した柔らかい布で拭きとってください。洗剤のご使用はお避けください。
※ご使用になりますと、変質・変色・変形の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、カバー、グローブの取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って確実に行ってください。
※取り付けが不完全な場合は、カバー、グローブの落下、焼損の原因となります。
- ランプ交換の際、必ず器具に表示してある種類・ワット（W）数の適合ランプをご使用ください。
※異なる種類・ワット（W）数のランプを使用しますと、過熱によりヤケドや器具が変形、変色したり火災の原因となります。また、防湿性能が失われ、漏電の原因となります。
- 3～5年程度に1回、器具の点検を行うことをおすすめします。



注記(適合ランプ)

白熱灯器具

○モチ形照明器具は「電球60W以下」、半円形照明器具は「ミニクリプトン電球60W形」のランプを使用してください。

照明器具の点検について

- スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
 - コード、ケーブル、本体を動かすと点滅する。
 - コード、ケーブル、本体などが異常に熱い。
 - こげくさい臭いがする。
 - コード、ケーブルに傷や痛みが見られる。
 - カバー、グローブなどにひびが見られる。
- 以上のような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をください。

ご使用方法とご注意

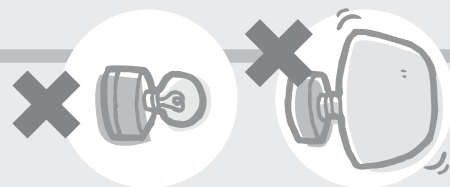
壁付照明

グローブは確実にしめましょう



禁止

- グローブ(灯具)をはずしたり、ゆるんでいる状態で使用しないでください。感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。

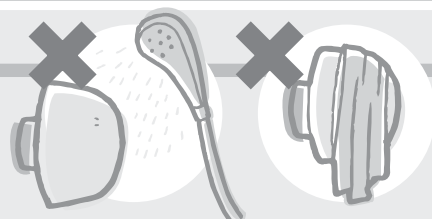


水かけは禁物



禁止

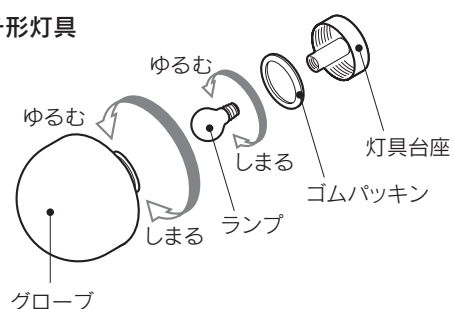
- グローブに直接水がかからないようにご注意ください。
- 照明器具には、タオル等のものを掛けないでください。過熱して、火災になるおそれがあります。



壁付照明の交換方法

- 電源(スイッチ)を入れても浴室灯がつかないときは、電球が切れていることが考えられます。次の手順で交換してください。
- ①電源(スイッチ)を切ってください。(OFFにする)
- ②器具の温度が下がったのを確認してからグローブを左に回してはずしてください。
- ③電球を取り替えてください。電球は必ず灯具台座に表示してある種類、ワット(W)数、口金サイズの適合ランプを使用してください。(電球形蛍光ランプの場合は電球色を使用してください。)
- ④ゴムパッキンを忘れずに入れてからグローブを右に回して取り付けてください。グローブにゆるみがないように気をつけてください。

モチ形灯具



電球形蛍光ランプについて

- 点灯直後は暗く、約60秒で明るくなります。
- 点灯後、約20分間は明るさや光色が若干変化します。

交換時の注意

- 電球表面温度が下がったのを確認してから作業をしてください。
- ぬれた手での交換作業は危険です。
- 電球は必ず灯具台座に表示してある種類、ワット(W)数、口金サイズの適合ランプを使用してください。異なる種類、ワット(W)数のランプを使用しますと、取り付けができなかったり、過熱によりやけどや器具が変形・変色したり火災の原因となります。また、器具が変形・破損すると防湿性能が失われ、漏電や電球破損の原因となります。
- 電球形蛍光ランプの場合は密閉形や防湿・防雨の器具に対応したものを使用してください。
- ゴムパッキンはグローブ内に湯気を入れない役目をしております。忘れずに入れてください。また、はみだしたり、ねじれたりしないようお確かめください。

警告



- 灯具・換気扇のお手入れの場合は、必ず電源を切ってから作業をしてください。感電やケガをするおそれがあります。

警告



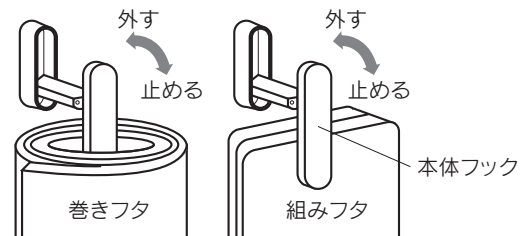
- 電球の交換や換気扇の掃除をする時は、必ず安定した踏み台をお使いください。バランスをくずして転倒し、ケガをするおそれがあります。

6 フロフタ収納フック(オプション)

- 物をぶら下げたり、引っ張ったりしないでください。無理な力を加えると本体フック部がはずれたり、破損することがあります。
- 本体フック部を引っ掛けたままフロフタを取らないでください。破損することがあります。
- 本体フック部が、はずれたり、破損した状態で使用しないでください。引っ掛けたりしてケガをするおそれがあります。
- 指をはさまないようにご注意ください。

ご使用方法

必ず本体フック部をつまんで上げ下げしてください。



7 排水について

洗い場の排水口には、トラップ(水を溜めて臭気止めをする機構)がついておりますので次のことにご注意ください。

トラップは常に正常に

- 目皿やヘアキャッチャーを取りはずした状態でのご使用はお避けください。毛髪やゴミなどの詰まりの原因となります。
- GXシリーズのトラップは、浴槽の排水口と洗場の排水口が直接つながっており、洗場からバケツなどで水を排水口に急激に流すと、浴槽排水口の水位が上がりますので、静かに流してください。

溶剤・薬品等を流さないように

- トラップのお手入れは28ページを参照ください。

注意



禁止

排水口にシンナー等の溶剤や薬品を流さないでください。水もれのおそれがあります。

トラップ封水切れの注意

- 長時間留守にする場合蒸発等により封水切れで悪臭の発生する場合がありますのでご注意ください。万一臭気が発生した場合は、換気をし、排水トラップにバケツ一杯の水を静かに流してください。

ご使用方法とご注意

⑧ 点検口について

天井の点検口は配線・ダクト・換気扇の点検などに使用します。

点検の際に注意していただきたいこと

- 点検の際は付属品の上や天井の上にのったり、天井にぶら下がったりしないでください。
- 脚立をご使用の際は、床面を保護して、作業は安定なかたちで行ってください。

点検後は点検口をもと通りに正しく

- 点検が終わった後は、点検口をもとの位置に正しく取付けてください。

⑨ その他のご注意

表面保護について

衛生的で、美しい浴室ユニットを保つために、次のことにご注意ください。

床面を傷つけないために

- かたいものでこすったり、重くてかたいものを床に落とさないでください。
- タバコなどの火気を近づけないでください。これらはすべて傷つき・ヒビ割れの原因となります。
- ヘアピン・カミソリの刃などを床に置くとサビが付着してとれなくなることがあります。



壁・天井・ドア面を傷つけないために

- かたいものでこすったり、たたいたりしますと傷つき破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 壁・天井への穴あけ・釘打ちなどは絶対にしないでください。



禁止



壁面を変色させないために

- 壁面（ラミリアの場合）に吸盤付の石ケン受けなどを取付けますと、吸盤が壁面を変色させることがあります。吸盤が直接壁面に触れないように注意してください。

浴槽とフロフタについて

浴槽

- 浴槽に硬いものをぶつけないでください。硬いものや、先のとがったものをあてますと表面に傷がついたり、ヒビ割れの生じる事があります。
- 冷えきった浴槽には、直接熱湯（80℃以上）を入れないでください。表面が変色したりいたむ原因となります。

⚠ 注意



禁止

浴槽に無理な力をかけないでください。ヒビが入って、水がもれるおそれがあります。



禁止

硫黄分の入った入浴剤は使用しないでください。配管部などをいため、水もれのおそれがあります。



禁止

浴槽のふちに立ったり、カウンターなどには、絶対にのらないでください。
足をすべらせて、ケガをするおそれがあります。



湯温注意

入浴前に、必ず湯温を確認してください。ヤケドをするおそれがあります。

24時間風呂装置について

- 24時間風呂装置対応浴槽には、対応可能表示ラベルが貼付してあります。ラベルのない浴槽は、24時間風呂装置を継続してご使用になりますと、浴槽表面の荒れ、退色等の変化を生じるおそれがありますので、ご使用をさけてください。くわしくは販売店もしくはハウステックの営業所へご相談ください。

フロフタ

- 浴槽にお湯を入れて放置しておく場合は、必ず浴槽にフタをしておいてください。

⚠ 警告



禁止

フロフタの上に体重をかけたり、のったりしないでください。
フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。



ご使用方法とご注意

⚠ 注意



フロフタ

フロフタは、必ず浴槽に合ったものをお使いください。フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。

フロフタをご購入の際は、販売店もしくはハウステックの営業所またはサービス代理店までご連絡ください。

フロフタについて

- フロフタは必ず当社専用品をご使用ください。一般市販品には、一部可塑剤が入っているものがあり、浴槽表面を傷める恐れがあります。

鏡について

- 鏡は浴室内の湯気によりくもります。石ケン水を含んだタオルで鏡の表面を拭いてご使用ください。
- 鏡表面の水滴は拭取ってください。水滴が残っていると乾いたときに汚れがこびりつき、取りにくくなる場合があります。



禁止

- 鏡に物をぶつけたり、たたいたりしないでください。鏡が割れるおそれがあります。
- 日常のお手入れは、中性洗剤をご使用ください。酸性・アルカリ性洗剤は使用しないでください。
- 鏡表面の水滴あとが中性洗剤で拭取りにくい場合には、クリームクレンザーをご使用ください。

目地について(防水上たいせつな目地材)



目地注意

- 目地材は水もれを防ぐために大変重要なものです。いためたり、取りはずしたりしないでください。
- 入浴後、目地にカビなどが生えないよう換気してください。

⚠ 注意



禁止

床・壁・天井・浴槽の継目部分の目地材（コーキング）を傷つけたり、切ったりしないでください。水もれのおそれがあります。

火気禁止・薬品禁止

火気禁止



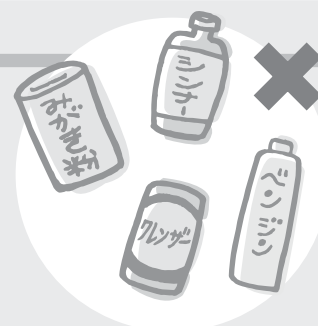
- 浴室内でタバコを吸ったり、その他火気（コンロ・ストーブ等）を使用しないでください。火災やコゲ等の原因になります。



薬品の使用禁止



- 中性洗剤以外のクレンザー、みがき粉、シンナー、ベンジン、塩酸及び塩酸を含む洗剤、現像液、カビ取り剤などの薬品は使用したり、流したりしないでください。これらを使いますと、傷・ハガレの原因となり部品の腐食・サビなどの事故を起こすことがあります。
- 毛染液、染料は変色しますのでご注意ください。



硫黄系入浴剤の使用禁止



入浴剤
注意

- 硫黄系の入浴剤は使用しないでください。浴槽などのFRPおよび水栓などの金物を変色させるおそれがあります。



10 その他のオプション

換気乾燥機

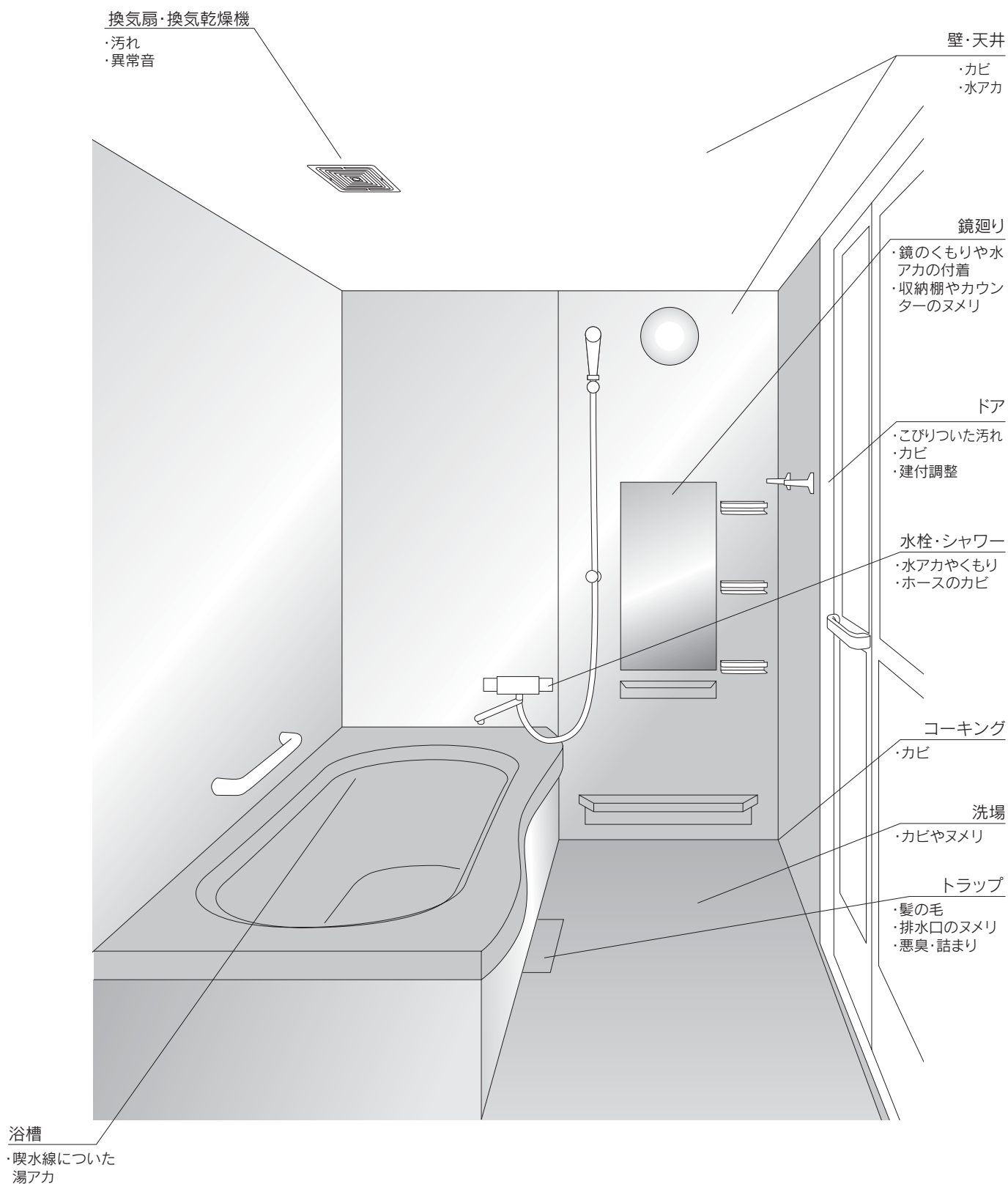
※くわしくは換気乾燥機取扱説明書をお読みください。

ホームバブル

※くわしくはホームバブル取扱説明書をお読みください。

お手入れ方法

① 浴室の汚れ



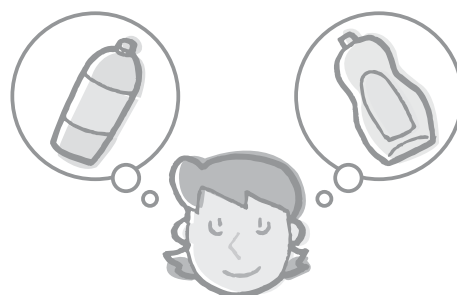
② 軽度の汚れ

入浴直後に喫水面をスポンジで円を描くように軽くこすり、お湯を落とすだけでも汚れの付着は防止できます。

- 浴室用中性洗剤でお手入れを！
(成分：界面活性剤＋キレート剤)

洗剤はよく洗い流してください。

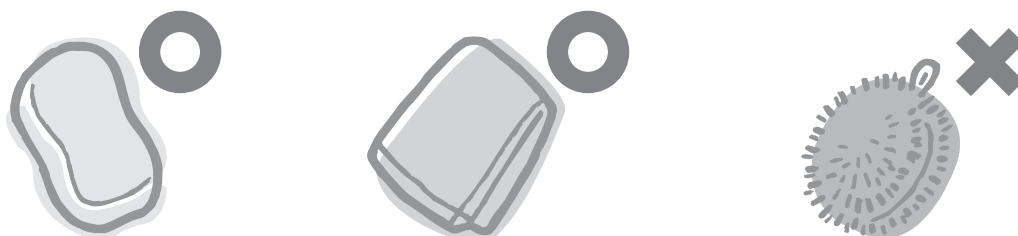
※変色の原因になります。



使う道具は？

スポンジ、またはタオルをご使用ください。

※ナイロンタワシはキズの原因となりますので、使わないでください。



浴槽の水が青く見えるのは？

浴槽の水が青く見える原因は2つあります。ひとつは水と光によっておきる「演色」現象、もうひとつは給湯配管などの銅から銅イオンが溶け出して水そのものが青くなる現象です。

①水と光の演出…水は本来無色透明ですが、太陽光の青系統のみを透過させて、他の色の光は吸収する性質を持っています。透過した青い光は、浴槽の底で反射して、水面に戻ってくるため水が青く見えるのです。ただし浴槽の色によっては青く見えない場合もあります。

②銅イオンの溶出…給湯機内部や配管に使われている銅から溶け出した銅イオンが、石けんやあかに含まれる脂肪酸などと反応しておこる現象です。普通は銅管の内面が新しいときだけ発生し、使用しているうちになくなります。万一、浴槽などに付着して青くなったら、アンモニア水（10%水溶液）でこすり洗いをしてください。その後、お酢で中和させ、水でよく洗い流します。

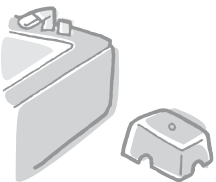
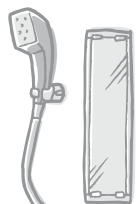
お手入れ方法

③ こびりついた汚れ

汚れが付着してしまったところの材質によって
清掃方法が違います。

使用しては
いけないもの

- たわし、ナイロントワシ、ブラシ…傷が付きます
 - クリームクレンザー…傷が付きます
 - カビ取り剤、漂白剤…変色します
- ※それぞれの商品に記載の注意事項をお読みの上、
ご使用ください。

材 質	各 部	洗 浄 方 法
樹脂部分	浴槽・床 天井・壁 フタ・イス 排水回り 	●浴室用中性洗剤を使い、スポンジかタオルで円を描くように洗淨する。
シリコン部分	目地 ドアパッキン 	●浴室用中性洗剤で軽く洗い、乾いたタオルで水分を拭き取る。 ●洗淨で取れないカビが付いた場合は、シリコンの打ち直しか、パッキンの交換が必要です(有償修理)。当社お客様相談窓口までご連絡ください。
金属部分	水栓 シャワー金具 鏡 	●浴室用中性洗剤を使い、スポンジかタオルで洗淨する。 ●水栓やシャワーからのお湯(水)の出が細くなったり悪くなった場合は、ストレーナーの清掃を行う必要があります。 詳しくは、シャワー、水栓の取扱説明書をご覧ください。

④ お掃除頻度

お掃除の秘訣は早め早めの対処から。毎日のお手入れから、毎年のお掃除まで、必要な場所をチャートにしてみました。お掃除の目安に役立ててください。

	浴	室
毎日	●浴槽の表面 ●床、壁表面の水洗い	●シャワーヘッドの散水穴板の目詰まり ●排水口の汚れを除去 ●浴槽の裏の下床
1週間	●洗い場の排水口目皿、トラップの汚れ ●浴槽周囲の縁 ●カガミの汚れ ●床や目地 ●収納棚 ●フロフタの表面や縁 	●水洗金具のコマパッキン交換や分解(メーカーに依頼) ●コーキングのやり直し ●フロフタの交換 ●シャワーヘッド、ホースの交換
1カ月	●循環口の汚れ ●シャワーホースの黒ジミ汚れ ●壁や目地 ●水洗金具のワックスかけ ●天井・照明の汚れ 	
		1年 3～6年

浴室の汚れの落とし方

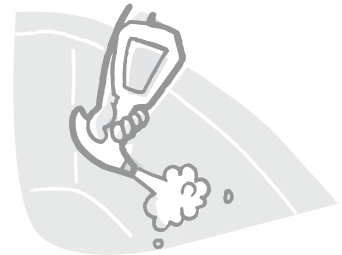


①浴 槽

- お湯をぬいた後すぐに洗うと汚れを落としやすい。
- 特に汚れがつきやすいのは噴水線の部分なので、この部分を中心に「浴室用中性洗剤」をかけてからスポンジで洗います。洗剤をかけて1～2分おいてからこすると汚れが落ちやすくなります。

材質別洗いのポイント

- プラスチック材（FRP、人工大理石）…傷がつきやすいので、柔らかいスポンジで洗う。



②壁、床

- プラスチック材…「浴室用中性洗剤」と柔らかいスポンジで洗います。

③水栓金具、鏡

- 「浴室用中性洗剤」とスポンジで洗います。
- 洗った後、乾いたタオルなどで拭きあげておくと、ウォータースポットを防止できます。

⑤お手入れ方法

①床

⚠注意

やわらかい布やスポンジに浴室用中性洗剤を含ませてふいてください。
排水後、床の表面は表面張力により、玉状に水が残る場合があります。玉状の水を少なくするためには、床を常に清潔に保っていただくことが効果的です。
浴室の使用後は、その都度、シャワーで洗い場の石けんかす、皮脂を流してください。また、週1回は、浴室用中性洗剤を布かスポンジにつけ、こまめなお掃除をしてください。
また、常に浴室の換気を心がけて頂きます様お願い致します。

ヘアキャッチャー・排水トラップのお手入れ

排水トラップは臭気止めの効果をはたす重要な部品です。

排水トラップは常に清潔に

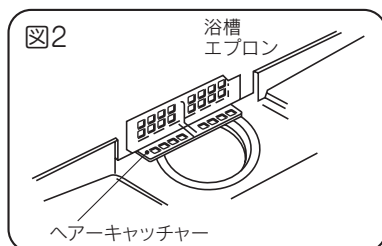
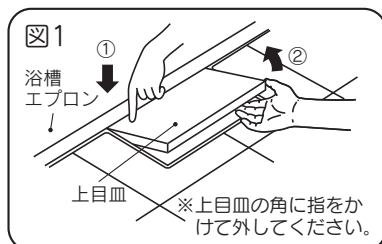
- トラップ内に毛髪やゴミが詰まると、排水能力が低下し不衛生になるばかりでなく、床面に水があふれたり水もれの原因になります。週に1回は清掃してください。
- 万一詰まった場合はすぐに取り除いてください。

お手入れ方法

お掃除の手順

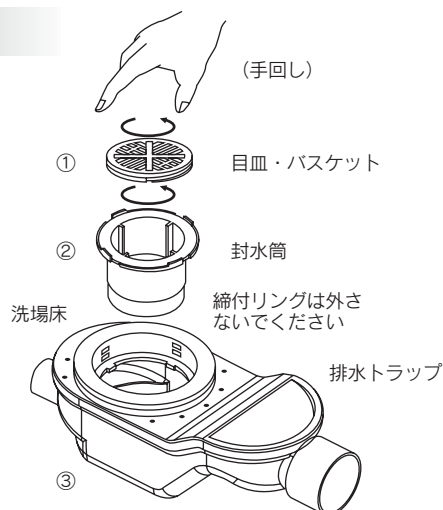
目皿・ヘアキャッチャー

- ①上目皿を取り外してください。(図1)
- ②排水マス奥のヘアキャッチャーを取り外し、毛髪やゴミを取り除いてください。(図2)



トラップ

- ①バスケットを回して排水トラップから外してください。
- ②封水筒を外してください。
- ③排水トラップの中の毛髪やゴミを取り除いてください。



お手入れ時の取扱注意



- お手入れ後は、よく洗剤を洗い流してください。
- ※お手入れ用洗剤には、浸透性の強い界面活性剤などが含まれている場合があります。高濃度の洗剤が付着したまま放置されますと、界面活性剤などにより変色、変質、腐食等を生じる恐れがあります。

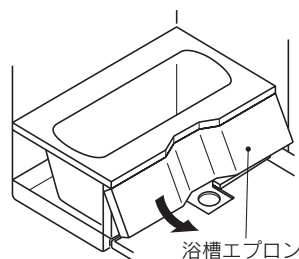
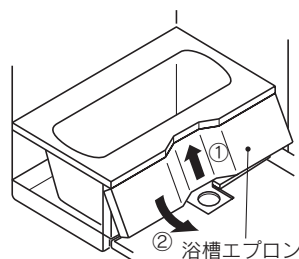
②浴槽、エプロン、浴槽側排水トラップ

浴槽下のお掃除をする場合のエプロンの脱着

エプロンの取り外し

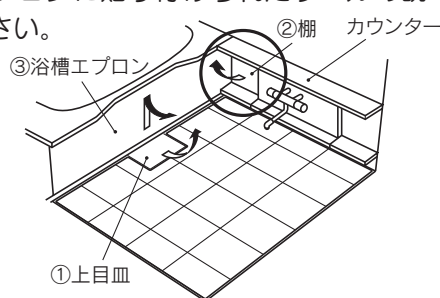
A. 上に持ち上げながら手前に引くタイプ

B. そのまま手前に引くタイプ



エプロンの取り外しは、サイズによってA、Bの2通りあります。エプロンに貼り付けられたラベルの説明に従ってください。

カウンター仕様の場合は②棚を外してからエプロンを脱着してください。



浴槽下のお手入れ

浴槽下も週1回のお手入れを



- 浴槽の下にホース等で放水して掃除してください。
- 浴槽排水口付近の毛髪やゴミを取り除きます。



※汚れが落ちにくい場合はブラシ等を用いて清掃してください。

湯アカや石けんカスはその日のうちにお掃除を

- 湯アカは乾いてからでは落ちにくくなります。
- ご入浴後排水するときに、やわらかい布またはスポンジで床や浴槽をかるく水洗いしてください。
- 浴室用中性洗剤をお使いになれば、さらに美しくなります。

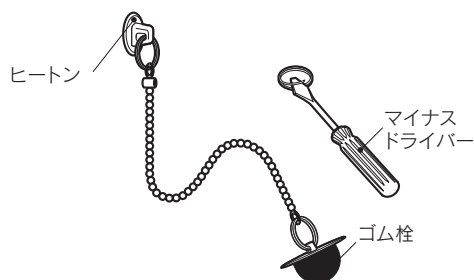


上目皿はこまめにお手入れ

- 上目皿は上にもち上げて取り外すことができます。湯アカや石けんカスの特にたまる所で、水洗いや浴室用中性洗剤で、こまめに洗い落としてください。
- 上目皿は、模様面が表面です。

くさり付ゴム栓の取り替えかた

- ①ヒートンのリングにードライバーを差し込み、外す。
- ②同じ様にマイナスドライバーを差し込み、取付けます。



安全上のご注意



禁止

- ヒートン栓本体は、ゆるめないでください。
(水もれの原因となります。)

くさり付ゴム栓品番：DUXD-PT1036

④壁・コーキング・目地・天井

壁

⚠️ 注意

壁の目地部（コーキング部や目地部）にはコーキングの切れや目地のはがれがあると、水もれの原因となるため、引っかかないように清掃してください。
目地部が切れたり、浮いたまま使用すると水もれやパネル裏面の腐食・サビの原因となります。

天井

⚠️ 注意

浴室を蒸気のこもったまま放置しておきますと天井に結露が付きます。天井に結露が付きにくくさせるためにもフタをして、換気してください。また、換気乾燥機・換気扇は断熱仕様となっていないため、気温・湿度条件によっては結露する場合があります。

お手入れ方法

目地のお手入れ

床・壁・天井・浴槽の継目部分にはめ込まれている目地材（コーキング材）には、ゴミやアカがつきやすく、カビが発生することがあります。

少なくとも週1回はカビの予防を

- やわらかい布またはスポンジに中性洗剤をつけて、少なくとも週1回は目地部の汚れを拭き取ってください。

お手入れの際注意していただきたいこと

- 目地材は防水性能上大切な役割をはたしております。取りはずしたり、傷つけたりしないようご注意ください。

⚠注意

- お手入れするときは、歯ブラシ、タワシなどは使用しないでください。目地材をいため、水もれの原因となることがあります。

（万一、コーキング材が損傷した場合は、やり直す必要があります。くわしくは、販売店もしくはハウステックの営業所へご相談ください。）

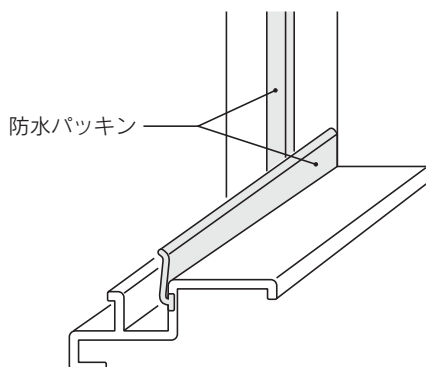
⑤ドア

少なくとも週1回

- やわらかい布、またはスポンジに市販の中性洗剤をつけて、少なくとも週1回は水分、湯アカ・ホコリを拭き取ってください。

汚れが落ちにくいときは

- 消毒用アルコールをやわらかい布につけて拭き取ってください。
- ドアの枠についている防水パッキンは浴室外へ水を出さないための重要な部分です。



やわらかな部品ですのでタワシや歯ブラシ等、表面を傷めるおそれのあるものは使用しないでください。スポンジにより中性洗剤をうすめた液でやさしく拭き取ってください。

傷みが生じたり、発見した場合には、営業所に御相談ください。

（注意）急激なドアの開閉作業をした場合、ドアの開け始め及び閉め終りで急に重く感じる事があります。気密性が高いため中の空気が逃げ切れず抵抗となるためであり、故障ではありません。静かに開閉してください。

⑥水栓全般

水栓のお手入れと点検

⚠ 注意

年に1度は、配管の回りを見て水漏れがないか確認してください。
部品の劣化・磨耗による漏水が発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。

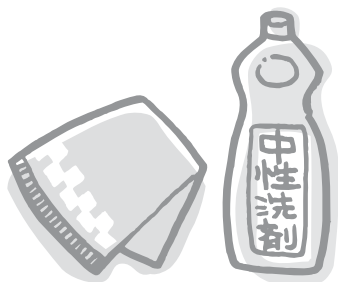
器具がいつまでも美しく保たれるよう日頃のお手入れをお願いします。

軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れを拭き取ってください。

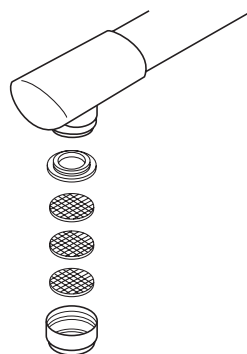
ひどい汚れの場合

浴室用中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布で汚れを拭き取り、その後、乾いた布で仕上げてください。



吐水口整流器(網)の清掃

- ①吐水口キャップを手で回してはずしてください。
- ②網目につまったゴミをブラシなどで取り除いてください。



お願い

- みがき粉、クレンザーなど粒子の粗い洗剤やスチール、ナイロンタワシは、器具の表面を傷付けますので使用しないでください。
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、銲物性潤滑剤、シンナー、ベンジンなどは、器具の樹脂部分（ハンドル、シャワーヘッド、パッキンなど）を傷めますので使用しないでください。



お手入れ方法

シャワーホースのお手入れ

少なくとも週1回

- やわらかい布、またはスポンジに市販の中性洗剤をつけて、少なくとも週1回は水分、湯アカ・ホコリを拭き取ってください。

汚れが落ちにくいときは

- 消毒用アルコールなどをやわらかい布につけて拭き取ってください。

⑦鏡

- 浴室内の湯気によりくもる場合は、石けん水を含んだタオルで鏡の表面を拭いてご使用ください。
- 鏡表面の水滴あとが中性洗剤で拭取りにくい場合には、クリームクレンザーをご使用ください。



禁止

- 鏡に物をぶついたり、たたいたりしないでください。鏡が割れるおそれがあります。
- 鏡表面の水滴は拭取ってください。水滴が残っていると乾いたときに汚れがこびりつき、取りにくくなる場合があります。
- 日常のお手入れは、中性洗剤をご使用ください。酸性・アルカリ性洗剤は使用しないでください。

⑧握りバー

浴室でのつかまり立ちや、移動の際にご使用ください。

⚠注意



禁止

握りバーやランドリーパイプなどに、ぶらさがらないでください。転倒などにより、ケガをするおそれがあります。



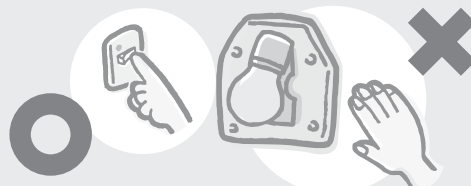
- 握りバーは表面が樹脂コーティング仕上になっておりますので、鋭利な物や、硬い物で傷をつけないでください。

⑨照明

⚠注意

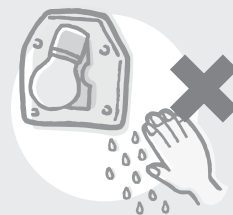
お手入れは電源を切って、器具の温度が下がってから行ってください。

※感電やヤケドのおそれがあります。



濡れた手で、お手入れを行わないでください。

※感電のおそれがあります。



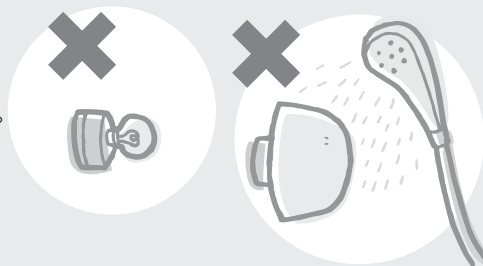
カバーのお手入れは取外した後、柔らかい布をぬるま湯に浸して拭きとってください。洗剤のご使用はお避けください。

※ご使用になりますと、変質・変色・変形のおそれがあります。

器具にタオル、衣類、カーテンなどを掛けないでください。



器具のカバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。



⚠注意 消耗部品の交換

- 次の部品は、消耗部品です。耐久部品ではありませんので、傷みが生じた場合交換してください。

消耗部品……排水口フタ、フロフタ、電球、排水栓、水栓のパッキン類

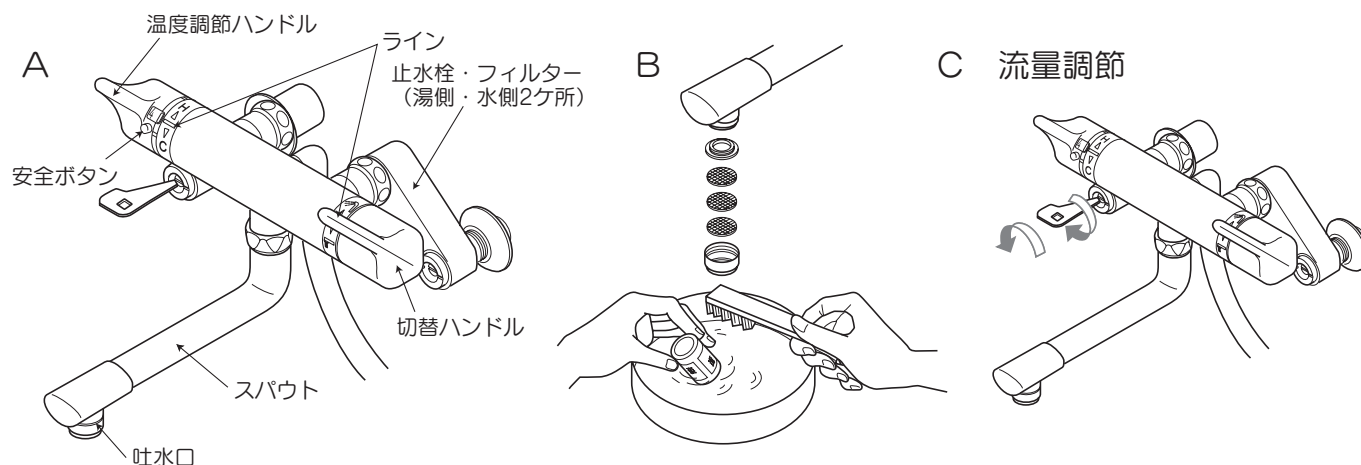
※保証期間経過後、及びご注意事項をお守りいただけなかった場合の交換・修理は有料となります。

あれ？と思ったら

① 水 栓

次のような現象は故障ではありません。表に従ってもう一度お確かめください。

現 象	お調べいただくところ	処 置	点検箇所
○吐水量が少ない	止水弁は全開されていますか。	止水栓で流量を調節する。	C
	吐水口キャップ、フィルターの目づまりはありませんか。	吐水口、フィルターの掃除をする。	A・B
	ガス給湯器と組合せてのご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか。	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする。	—
○高温しか出ない	水側の止水栓は十分開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	C
○低温しか出ない	湯側の止水栓は十分開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	C
	給湯器から十分なお湯がきていますか。	給湯器の設定温度を確認ください。	—
○温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水栓は十分開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	C
	給湯器から十分なお湯がきていますか。	給湯器の設定温度(50℃以上)を確認ください。	—
	吐水口キャップ、フィルターの目づまりはありませんか。	吐水口、フィルターの掃除をする。	A・B
○止水しない	ハンドルは止水位置まで下げていますか。 (全閉になっていますか。)	ハンドルを止水位まで下げる。	—



② 床

床には、耐水性、耐久性が高いFRPを使っており、排水後は、表面張力により、玉状に水が残る場合があります。玉状の残水を少なくするためには、浴室使用后、シャワーで洗い場の石鹸カス・皮脂等を流したり、中性洗剤でのこまめなお掃除をしていただくと効果的です。また、常に浴室の換気を心がけてください。

③ 天井

天井は気温・湿度条件によって結露する場合があります。入浴後はフロフタをし、換気扇を回すなどしてください。

④ その他

現 象	原 因	処 理 方 法
鏡表面の汚れが取れない	水滴が乾いて、こびりついたためです。	クリームクレンザーにて、お手入れしてください。
排水が悪い	ゴミが溜まっていませんか。	トラップのゴミを取除き、捨ててください。 (排水口の中には捨てないでください。)
洗髪時の泡が残る	泡の量が多いと、水といっしょに流れないためです。	シャワーをかけて流してください。
照明が点灯しない	球切れではありませんか。	スイッチおよびブレーカーを切って、新品の電球(60W以下)に交換してください。
天井に水滴がたまる	湯気やミストなどが天井に付き、成長してできたものです。	入浴後は換気扇を回したり、窓をあけるなどして、浴室内を乾燥させてください。残り湯がある場合は、必ず風呂フタをしてください。
入浴中寒く感じる	換気扇を運転しながら入浴していませんか？	入浴中は換気扇の運転を止めて下さい。
水栓金具のハンドルを回すと、カンまたはブーンという音がする	配管が振動する音です。	水栓金具のハンドルは、ゆっくり回してください。
シリコン、目地にカビが生える	浴室の換気と手入れは十分ですか。	入浴後は換気扇を回したり、ドアをあけるなどして、浴室内を乾燥させてください。カビは一度生えたと、カビ取剤や漂白剤ではきれいに取除くことはできません。取替える場合は、販売店にご相談ください。
水栓から水が漏れる	パッキンが劣化していることがあります。	パッキンは消耗品ですので、水漏れが発生したら、お買上げの販売店または、別記の ハウステック の営業所へお問い合わせください。
水栓の吐水量が少なくなり、温度調節が悪くなった	水栓のストレーナに、ゴミが詰まっていることがあります。	水栓のストレーナを掃除してください。清掃方法については器具の取扱説明書をごらんください。
換気扇を運転しながら入浴すると、換気扇より水が落ちてくる	冬期などは特に湿気を多く含んだ空気が換気扇(グリル部)に当たり、水滴となって落下します。異常ではありません。	故障などではありません。入浴後もしばらくの間換気扇を運転させてください。
ホームバブルが作動しない	_____	付属の取扱説明書に従い診断を行ってください。それでも作動しない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
お掃除の際に洗場の排水口に洗面器の水を急激に流すと浴槽の排水口の水位が上がる	G×シリーズは浴槽の排水口と洗場の排水口は直接繋がっています。においを通さない為の水が溜めてありますので異常ではありません。	故障などではありません。 静かに水を流してください。
洗場に小さな水玉が残り、なかなか乾かない	水をはじき易い強化プラスチックで作られている為、どうしても一部の水が残ることがあります。異常ではありません。	_____

アフターサービスについて

アフターサービスを依頼する前に

- 商品に不具合を感じたときは“「あれ？」と思ったら”を見てもう一度確認してください。それでも不具合が直らない場合は、自分で修理しないで、お買い上げの販売店またはハウステックサービス網一覧表の窓口にご相談ください。ご相談の際はお手もとに保証書をご用意ください。

アフターサービスを依頼するときは

- アフターサービスを依頼するときは次のことをお知らせください。
【1】商品の「型式」【2】不具合の状態(できるだけ詳しく)【3】住所・氏名・電話番号
商品の「型式」はドア上側に貼り付けられています。

保証と保証期間について

- この取扱説明書には保証書(別紙)が付いています。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書に明記してあります。
- 保証期間中でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をご覧ください。

器具の追加や変更について

- 器具を新しく追加したり、位置を変更するときは、お求めの販売店または、ハウステックサービス網一覧表の窓口まで相談ください。

ご相談
ください



バスルーム廃棄についてのお願い

- このバスルームを廃棄される場合には、必ず公的な許可を受けている処理業者様にご依頼ください。
バスルームの廃棄部材が不法投棄等されていた場合、廃棄の依頼者が法律違反で罰せられます。

器具の交換について

こんな部品は定期的に交換です。

ご使用中に不具合を感じたときは、お買い上げの販売店またはサービス代理店までご相談ください。

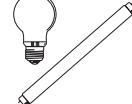
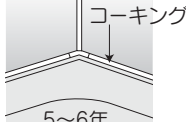
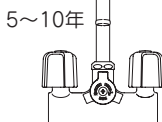
●水栓本体

●シャワーホースヘッド

●目地・コーキング

●ゴム栓やパッキン類

●照明器具の電球・蛍光灯



照明器具の電球・
蛍光灯はお客様で
交換をお願いします。

ハウステックお客様ご相談窓口のご案内

商品のお問い合わせは(お客様相談窓口)

0120-80-1761

●受付時間 平日の9:00~17:30(但し12:10~13:00の間は除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理・点検のご用命は

0120-10-2471

●受付時間 365日 24時間

補修部品のご購入は(代引き販売窓口)

0120-45-5621

●受付時間 平日の9:00~17:30(但し12:10~13:00の間は除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

株式会社 ハウステック

東京都板橋区板橋3-9-7 板橋センタービル 〒173-0004 Tel. 03-5248-5500 www.housetec.co.jp

GX26-PT9001 | 2W00001753 | 2009.2